

はしがき

ヒートアイランド現象（都市の気温上昇）は年々深刻さを増してきている。政府が2004年3月に決定したヒートアイランド対策大綱では、基本的な対策として、人工排熱の低減、地表面被覆の改善、都市形態の改善等が明記されており、国、自治体等によりこれらのヒートアイランド対策が実施されている。都市で発生した熱をすみやかに希釈するためには、海からの涼風の利活用は重要な視点であり、都市形態と風通しおよび気温形成の関係について検討する必要がある。

国土技術政策総合研究所と建築研究所は、それぞれ国土技術政策総合研究所プロジェクト研究「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発（平成16～18年度）」と建築研究所重点的研究課題「ヒートアイランド緩和に資する都市形態の評価手法の開発（平成18～20年度）」を実施してきた。併せて両研究所は共同研究「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発（平成16～18年度）」を実施してきたところである。本資料は、両研究所によるこれらの研究成果であり、建物周辺から都市スケールに至る熱環境を高解像度で予測する大規模数値解析技術と解析結果をまとめたものである。

本資料がヒートアイランド対策の立案に役立てられ、良好な都市環境形成の一助になることを期待する。

平成22年3月

国土交通省国土技術政策総合研究所

副所長 高井賢司

独立行政法人建築研究所

理事長 村上周三